



市制施行 72年目 面積 約22km 人口 約10万1千人 大阪のベッドタウン 市立学校 11小学校 5中学校

国立附属校

小·中·高各1校

私立高校 1校

府立高校 4校

池中は市内で一番古い 中学校(生徒数512名)

小さくとも世界に誇れる池田

# 池中のMTP 「マイ・タウン・プロジェクト」って何?

2007年度ぐらいから本格化した、外部人材による池中教育支援活動の総称

学校からの呼びかけに応じて〈れた地域のボランティア(地域住民・PTA・保護者OB・卒業生・大学生・一般応募者ら)によって構成

活動費は学校支援地域本部事業(2011年度からは市の単費)より捻出

現在のところ、プロデュースの主体は「学校」。 ただし、事務局は2010年度よりNPOに。

## 池中にMTPが必要だった理由

家庭の教育力が低下する中、地域の教育力の活性化(復活)が急務となった

池田市は昔から地域協働が盛んだったが、 池中校区は人口流入も激しく、他校区と比べて 地域の教育力が拡散的だった

そこで、従前の枠組みとは違う「学校側ニーズ」により「地域の再編」を試みた

結果的に「地域側ニーズ」との双方向性が有効に機能しだした

# 平成23年度 池田市立池田中学校 教育基本方針 教育目標

誰もが排除されずに真剣に切磋琢磨できる環境で「自尊感情」を醸成し、豊かな人間関係の中で自己実現を目指す生徒を育成する

#### 誰もが本気で磨き合える学校づくり

#### 教育活動(指導)方針

生徒の声をよく聞こう、生徒の顔を見つめよう。 生徒の「今(現実)」からスタートしよう。 学校として伝えるべき価値をしっかりと伝えよう。

### 「タテ・ヨコ・ナナメのやわらかネット」の構築 池中MTPを池中校区MTPに

< 基本コンセプト > **みんなが本気になる「切実な課題感」で、** 「具体的・日常的・継続的」につながろう

- <タテ> 各校園共通の「切実な課題」(例えば特別支援教育の協働等)を軸とした地域密着型保幼小中(高)一貫教育(中学校をハブ校とする連携型)のシステム
- **<ヨコ> 学校・家庭・地域の協働**による、生徒の自己実現支援のシステム(これまでの池中マイタウンプロジェクト)
- <ナナメ> 学校・地域の施設・人材・機能の双方向活用によって再編される直接の利害関係のない人間関係

< やわらか > 位置づけは明快に、運用は柔軟に

#### 現在の推進組織

### 他中校区総合サポートプロジェクト委員会

中学校給 生活指導 教育コミ 小中一貫 その他の 協力 ュニティ 検討 食検討 課題検討 (委員会) づくり推 (委員会) (随時) 進 (委員会)

(実行推進組織)

池中校区池中校区小中池中スクールMTP フェス一貫検討事務ランチプロジ夕実行委員会局会ェクト

## 生徒は街へ

福祉体験学習・職場体験学習 進路体験学習・人権シティウォーク 出前演奏・ボランティア出店…etc.

# 人々は学校へ~これが本校の最大の特徴(

畑プロジェクト・絵画教室・ハングル講座 キムチ漬教室・着付教室・裁縫クラブ・造園 柔道教室・おもしろ実験教室・MTPカフェ おやじ倶楽部・池中会・スクールサポーター アシスタントティーチャー・部活指導…etc.

人々は自分の楽しみのために池中にやってきます





















おやじ倶楽部スタッフと校務員さん













# 昼食のカレーはお母さんたちと女子 テニス部が作ってくれました。























# MTPフェスタ 小学校PTAの皆さんによる模擬店









### 成果と課題

成果

「みんなで子育て」気運の浸透 ナナメの関係の威力増大 子どもたちのイラダチ感減少

課題

教職員の参加体制(勤務体制)の明確化 NPO「MTP」の事務局機能強化 活動費用の安定的確保